



Press Information

VPR15-019

2015年2月16日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン 世界ラリー選手権(WRC)で開幕 2 連勝

雪に覆われた「ラリー・スウェーデン」で接戦の末 1 位と 3 位を獲得



フォルクスワーゲンは、ラリー競技の最高峰「FIA 世界ラリー選手権(通称:WRC)」の 2015 年シーズン第 2 戦「ラリー・スウェーデン」に市販車をベースとした 3 台の「ポロ R WRC」で参戦、フランス人のセバスチャン オジェ選手が勝利を挙げました。ノルウェー人のアンドレアス ミケルセン選手は接戦を繰り広げた末に 3 位表彰台を獲得しました。

2015 年 2 月 12 日(木)～2 月 15 日(日)にかけて開催された「ラリー・スウェーデン」は、スウェーデン南西部のハグフォースを拠点とし、隣国ノルウェーにも足を延ばすラリーです。全 13 戦のうち唯一のスノーラリーとして、スパイク(スタッド)が打ち込まれた専用のタイヤで争われます。競技区間(スペシャルステージ、通称:SS)は 21、SS 距離 308km、総走行距離 1441.57km で行われました。

12 日(木)の夕方、カールスタッド市内でセレモニアルスタートを行った選手たちは、SS1 を走行。2 台同時スタートの特設コースで行われ、ヤリ-マティ ラトバラ選手が 3 番手に入賞しました。ミケルセン選手は 5 番手、オジェ選手は 7 番手タイムでそれぞれ初日を終わりました。13 日(金)からは本格的な林道 SS がスタート。フォルクスワーゲン勢はトップタイムを連発していましたが、午後の SS9 で首位のオジェ選手と 2 番手のラトバラ選手が相次いで大きくタイムロス。特にラトバラ選手は深い雪でスタックを喫してしまい、8 分 36 秒 5 遅れの SS41 番手タイムでフィニッシュ、総合 23 番手となり、上位入賞は難しくなっていました。オジェ選手は総合 4 番手まで順位を落としました。このアクシデントでラリーリーダーとなったのは、3 番手にいたミケルセン選手でした。

初優勝に向けて燃えるミケルセン選手は、その後 2 日間にわたってライバルやオジェ選手と僅差の激闘を繰り広げ、最終 SS を前に総合首位に立っていました。3 秒差で背後に迫るのは、前年チャンピオンであり、チームメイトでもあるオジェ選手です。最終 SS を走り始めたミケルセン選手でしたが、なんと途中でスピンを喫してしまい、この SS でトップタイムを出したオジェ選手から遅れること 42.8 秒でゴール。この瞬間、オジェ選手の逆転勝利が決まりました。オジェ選手はこれで自身 26 度目の勝利。一方のミケルセン選手は 3 位表彰台を獲得しました。最終 SS のパワーステージでトップタイムを出したオジェ選手にはボーナス 3 点が加算されます。

この結果、フォルクスワーゲン・モータースポーツはマニュファクチャラーズ選手権ランキングで首位を守り、リードを広げました。次戦は 3 月 5 日(木)～8 日(日)の第 3 戦「ラリー・メキシコ」です。

■フォルクスワーゲン モータースポーツ ディレクター: ヨースト カピート

「ミケルセン選手は世界チャンピオンと、友人でもあるティエリー ヌービル選手を相手に果敢に挑みました。そしてオジェ選手は冷静に戦い勝利しました。最高の戦いを見せた選手たちを賞賛します」

■カー#1: セバスチャン オジェ(フランス) 最終結果:総合 1位

「この勝利を心から誇りに思います。過去最もスリリングな結末でした。アンドレアスのことは残念ですが、彼とは今後も激戦になるでしょう。本当に素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました」

■カー#2: ヤリ-マティ ラトバラ(フィンランド) 最終結果:総合 12位

「WRC 初勝利を目前で逃したミケルセンは残念でした。私は金曜日の段階でミスをしてしまったので、残りを 2015 年型のポロ R WRC を学ぶことに費やしました。次戦メキシコでもアタックします」

■カー#9: アンドレアス ミケルセン(ノルウェー) 最終結果:総合 3位

「結局、最後の最後に初優勝のチャンスを逃してしまいました。それでも、この週末に得られた結果を誇りに思います。また次戦メキシコでも優勝争いに加わることができるよう、ベストを尽くします」

■ FIA 世界ラリー選手権 第 2 戦ラリー・スウェーデン 最終結果

1. セバスチャン オジェ/ジュリアン イングラシア(フォルクスワーゲン)	2 時間 55 分 30 秒 5
2. ティエリー ヌービル/ニコラ ジルソウル(ヒュンダイ)	+6 秒 4
3. アンドレアス ミケルセン/オーラ フローネ(フォルクスワーゲン)	+39 秒 8
12. ヤリ-マティ ラトバラ/ミーカ アンティラ(フォルクスワーゲン)	+9 分 11 秒 9

■ FIA 世界ラリー選手権 マニファクチャラーズ選手権ランキング(第 2 戦終了時点)

1. フォルクスワーゲン・モータースポーツ	68
2. ヒュンダイ・モータースポーツ	55
3. M スポーツ・ワールドラリーチーム	32
4. シトロエン・トタル・アブダビ・ワールドラリーチーム	20
5. フォルクスワーゲン・モータースポーツ II	15
6. ジポカー・チェコ・ナショナルチーム	10
7. FWRT	1
8. ヒュンダイ・モータースポーツ N	1

■ FIA 世界ラリー選手権 ドライバーズ選手権ランキング(第 2 戦終了時点)

1. セバスチャン オジェ(フォルクスワーゲン)	53
2. ティエリー ヌービル(ヒュンダイ)	30
3. アンドレアス ミケルセン(フォルクスワーゲン)	30
4. ヤリ-マティ ラトバラ(フォルクスワーゲン)	19
5. マッズ オストベルグ(シトロエン)	14
6. エルフィン エバンス(M スポーツ)	14